



学校教育目標 誠実・健康・努力

釜石市立唐丹中学校

第11号

唐丹町字小白浜314
TEL 0193-55-2106
文責 校長 八木稔和



不撓不屈

「命の授業」で心に残ったことは…



「ドリー夢メーカー」と「ドリー夢キラー」が、自分の周りや自分の心の中にいるということがわかりました。僕はこれから心の中を「ドリー夢メーカー」であられるように、みんなを助けられる“存在”でありたいです。そして僕は今何の不自由もないので、周りの人を助けて、みんなの「ドリー夢メーカー」「ホットマン」になれるようにしたいです。「命」のありがたさを考えながら生活していきたいです。(1年 齊藤 瑛飛斗)

全体的にすごく心に残るお話でした。一番に印象に残っているのは「ドリー夢メーカー」という言葉です。「ドリー夢メーカー」がいたからこそ腰塚さんは頑張ってくれたんだと思うし、リハビリトレーナーさんからの「一緒に頑張ろう」の「一緒に」という言葉があるかないかで感じ方は違うなと自分も思いました。さらに、「ありがとう」の言葉の大切さが講演を聞いてわかったと思います。たしかに「ありがとう」と言われて嫌な人はいないと思うし、ちゃんと伝える大事さわかりました。腰塚さんの講演を聞いて改めて命の大切さを学ぶことができたと思うし、自分も誰かに「ありがとう」と言ってもらえる人、誰かの「ドリー夢メーカー」でいられる人になりたいです。し、「五つの誓い」や講演で学んだことを胸に生きていきたいです。本当にいい時間でした。(2年 木村 海陸)

私は腰塚先生の話聞き沢山の言葉が心に残りました。腰塚先生の話聞いて今、命があることは当たり前じゃないことと、命の大切さを改めて実感しました。私のドリー夢メーカーは家族、友達、担任の先生、そして腰塚先生です。私は今日の講演で救われました。命の大切さ、そしてこれから自分と向き合い生きていきたいと思いました。腰塚先生に会えて本当にうれしかったです。腰塚先生から教わった一言一言を忘れずに後悔のない人生を送りたいと思います。腰塚先生のようなドリー夢メーカーになれるよう頑張ります。(3年 中居林 杏奈)

「口」は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう 「耳」は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう 「目」は人のよいところを見るために使おう 「手足」は人を助けるために使おう 「心」は人の痛みがわかるために使おう 腰塚先生から学んだ「五つの誓い」